

2024 年 10 月 7 日 全 7 頁

消費データブック（2024/10/7 号）

個社データ・業界統計・JCB 消費 NOW から消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

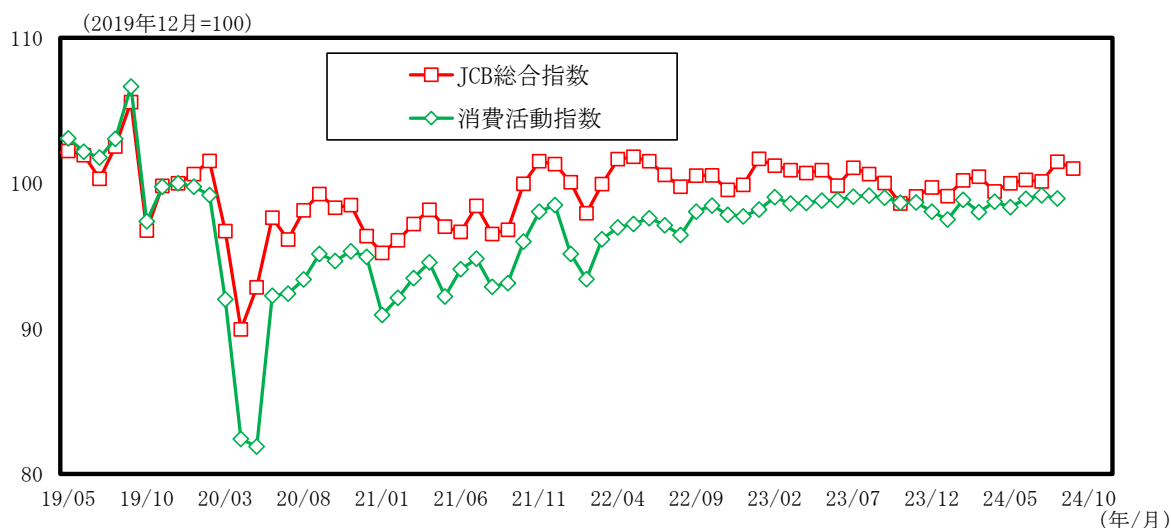
[要約]

- 2024 年 8 月の消費は 7 月から減少したとみられる。財消費のうち、百貨店商品販売額は新型コロナウイルス感染拡大前の 19 年同月比で 7 月から伸び率が低下し、マイナスに転じた。他方、アパレル販売額は 7 月からマイナス幅が縮小した。新車販売台数は 7 月から減少した（大和総研による季節調整値）。サービスのうち、宿泊者数と外食売上高の伸び率（19 年同月比）は 7 月から低下した。
- 9 月の消費は 8 月から減少したとみている。財消費のうち、百貨店大手 3 社の既存店売上高は 2019 年同月比で 8 月から伸び率が前月から低下し、マイナスに転じた。アパレル大手 3 社のうち 2 社の既存店売上高は前月から伸び率が低下した。新車販売台数は 2 カ月ぶりに増加した（大和総研による季節調整値）。サービス消費では、北陸以外の新幹線輸送量は 19 年同月比で 8 月から伸び率が上昇した。JCB が集計した外食消費額、宿泊消費額は 8 月から減少した（いずれも大和総研による季節調整値）。

＜消費全体の動き＞

- ◆【JCB 総合指数】 24 年 9 月の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）によると、実質消費額は前月比▲0.5%だった。内訳を見ると、財、サービスともに前月から減少した。

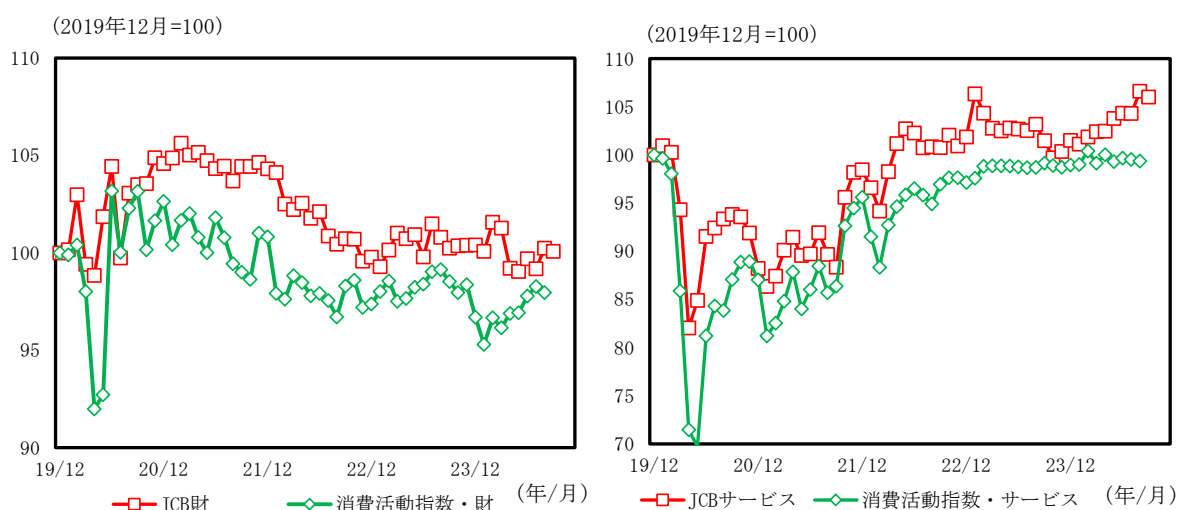
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 9 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 9 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

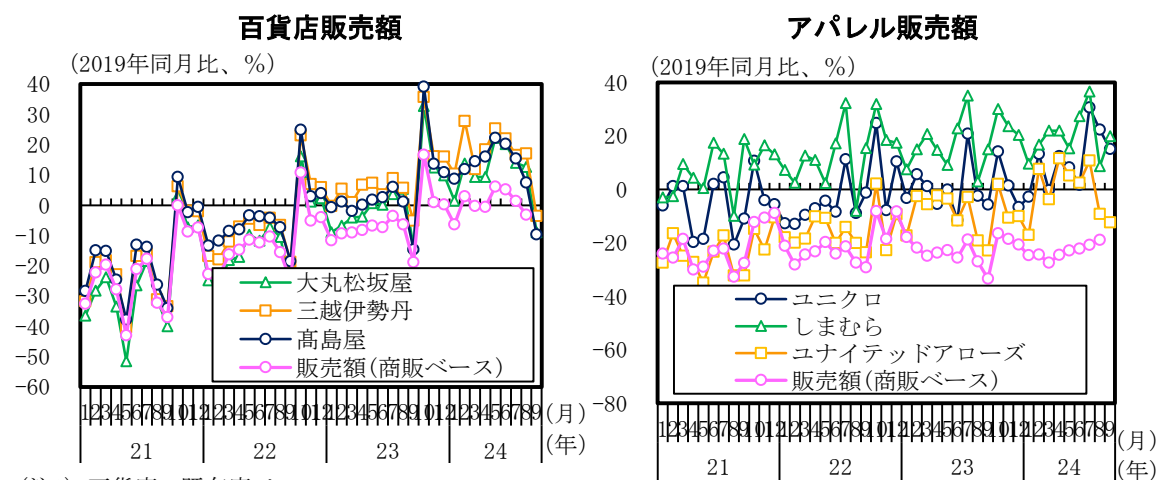
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

＜小売関連＞

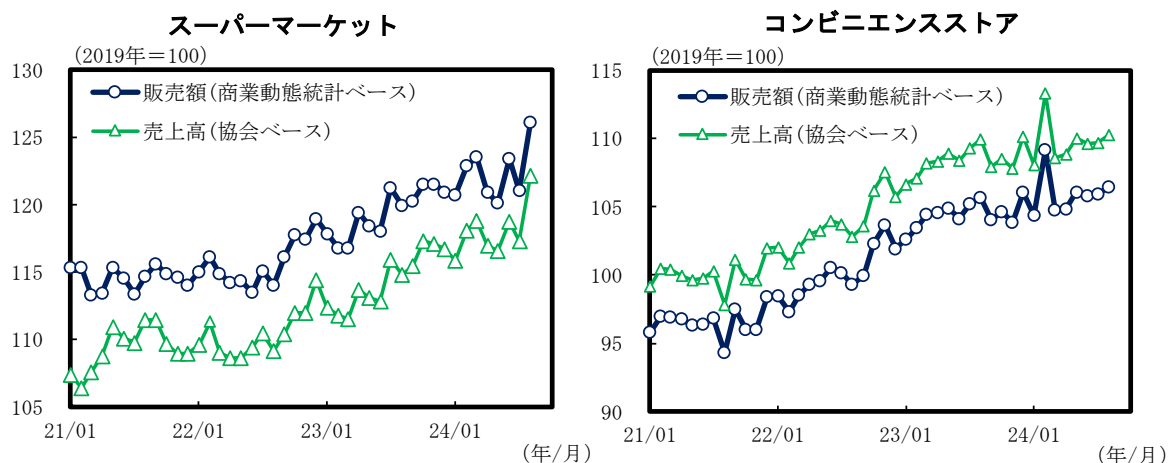
- ◆【百貨店】 24年8月の百貨店商品販売額（商販ベース）は、コロナ禍前の19年同月比で伸び率がマイナスに転じた。24年9月の百貨店大手3社の既存店売上高は同▲10～▲4%と伸び率がマイナスに転じた。残暑で秋物需要が鈍かった。また、19年10月の消費増税に伴う駆け込み需要の影響で同年9月の水準が高い点には留意が必要。
- ◆【アパレル】 24年8月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が縮小。24年9月のアパレル大手3社のうち2社の既存店売上高は前月から伸び率が低下。

図表3：百貨店・アパレルの販売額



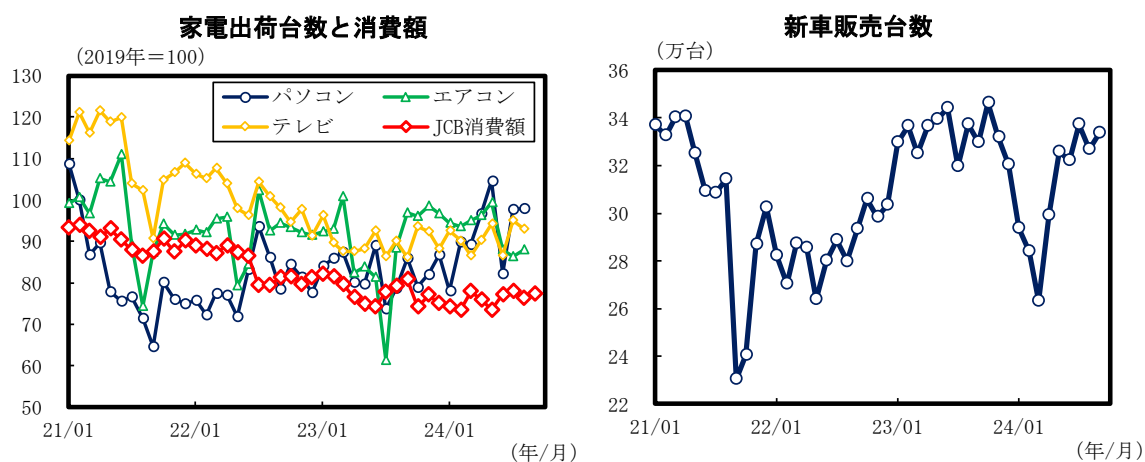
- ◆【スーパーマーケット】 24年8月の販売額は前月比+4.2%（大和総研による季節調整値）。衣料品や飲食料品などの販売額が増加。
- ◆【コンビニエンスストア】 24年8月の販売額は前月比+0.5%（大和総研による季節調整値）。加工食品などの販売額やサービス売上高が増加。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高



- ◆【家電】24年8月の出荷台数はパソコンが前月比+0.1%、エアコンが同+2.0%、テレビが同▲2.2%（いずれも大和総研による季節調整値）。24年9月のJCB消費額（機械器具小売業）は同+1.5%と2カ月ぶりに増加（大和総研による季節調整値）。
- ◆【自動車】24年8月の新車販売台数は前月比▲3.1%。24年9月は同+2.1%と2カ月ぶりに増加（大和総研による季節調整値）。一部メーカーで生産体制の正常化が進んだこと等が影響したとみられる。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



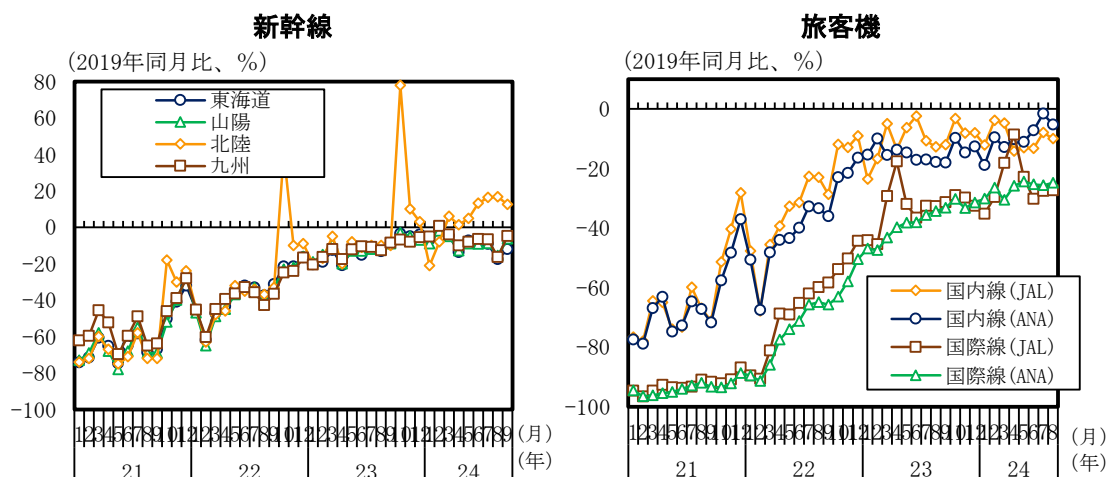
（注）大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。24年9月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

（出所）電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】24年8月の輸送量は19年同月比▲17～+17%程度。24年9月の輸送量は同▲12～+13%程度と北陸以外では伸び率が上昇。
- ◆【旅客機】24年8月の国内線輸送量は19年同月比で▲10～▲5%程度、国際線輸送量は同▲27～▲25%程度。堅調な観光需要を受け、航空各社は24年度下期の旅客便供給量の拡大を発表した²。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

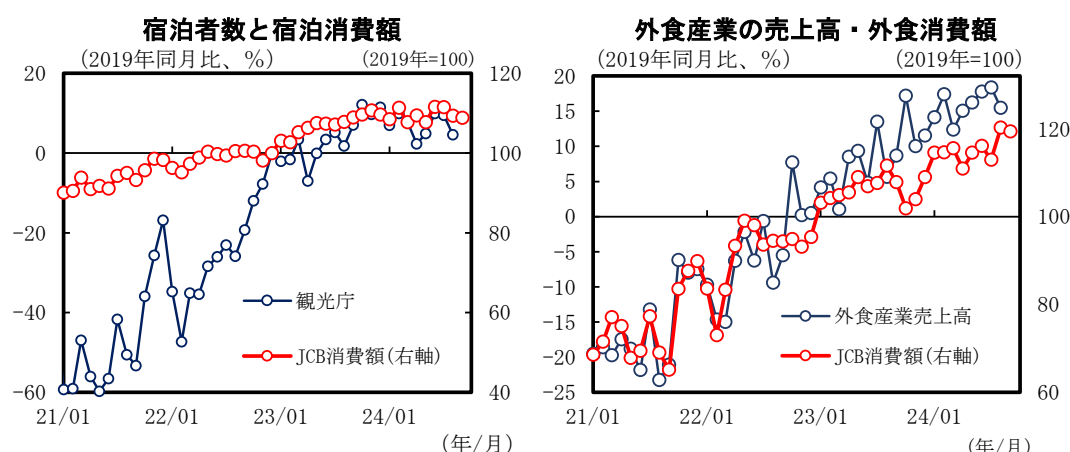


(注) 24年9月の東海道、九州は18日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】24年8月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は19年同月比+4.5%と前月からプラス幅が縮小。24年9月のJCB宿泊消費額は前月比▲0.5%。
- ◆【外食】24年8月の外食産業の売上高は19年同月比+15.5%と前月からプラス幅が縮小。24年9月のJCB外食消費額は前月比▲0.7%。

図表7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）



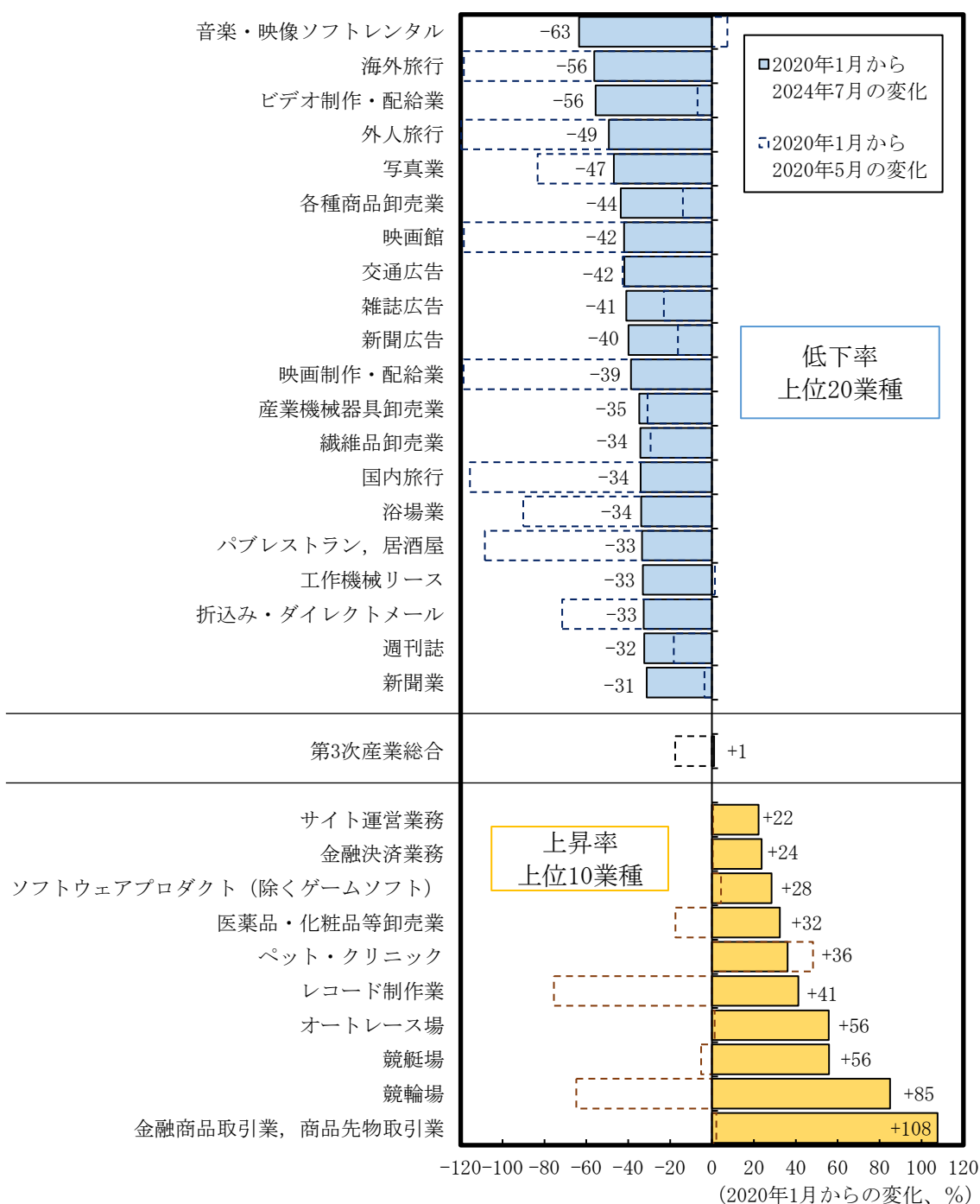
(注) 大和総研による季節調整値。24年9月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

² JAL「[JAL、2024年度下期路線便数計画を決定](#)」（2024年8月20日）、ANA「[2024年度下期 ANA グループ航空輸送事業計画を一部変更](#)」（2024年8月20日）

<参考：第3次産業活動指数>

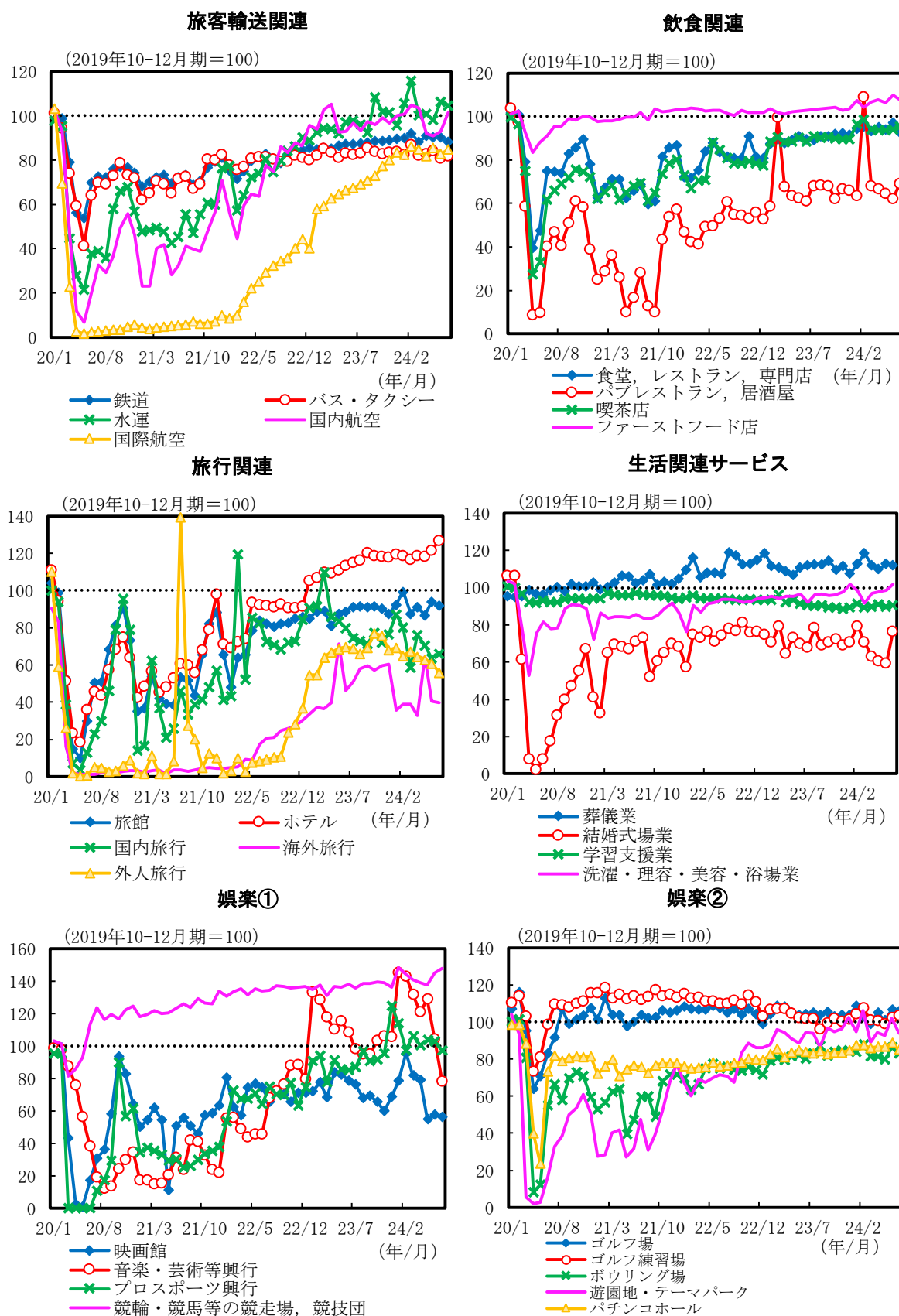
図表 8-1：第3次産業活動指数（2024年7月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2024年7月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 8-2：運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成